

■事業の概要

この事業は、京都ライオンズクラブ50周年記念事業として「公益信託京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金」の助成を受け、学校法人むそう学園／夢窓幼稚園とNPO法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市右京区常盤にある夢窓幼稚園に、市民共同で5kW規模の太陽光発電設備を設置したものです。

事業費は夢窓幼稚園の資金のほか、きょうとグリーンファンド「おひさま基金（市民からの寄付）」・「公益信託京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金」からの助成金・独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの「新エネルギー省エネルギー非営利活動促進事業—設備導入非営利活動事業」補助金で賄われました。

京のアジェンダ21フォーラム、京エコロジーセンター、京都府地球温暖化防止活動推進センターの後援、NPO法人気候ネットワーク、NPO法人環境市民、嵯峨大念佛狂言保存会、豊和食糧館、けんこうはうすの協力をいただきました。

設置後は、夢窓幼稚園、きょうとグリーンファンドが協力して環境学習を進めていきます。

■発電所データ

設置場所 京都市右京区 学校法人むそう学園
夢窓幼稚園

設置日 2004年1月17日

発電能力 5kW規模

発電量 約5,000kWh/年

総事業費 667万円

寄付額 220件（個人/団体）

132万円

寄付募集期間 2003年11月1日～2004年1月31日

交付を受けた補助金：

・京都ライオンズクラブ助成金 250万円

・NEDO/新エネルギー・省エネルギー

非営利活動促進事業補助金 274万円

■学校法人むそう学園／夢窓幼稚園

1954年、京都市右京区常盤に創立されてより50年間。「玄米自然食による給食」や、「一人ひとりが安心して自分を表現することのできる環境」、「出会いと共同作業が生きるよろこびの場」を願い、そしてまた生命のある文化作りを模索して、さまざまな活動を展開してまいりました。便利になり、情報もたやすく手に入れることのできる世の中とはいえ、どこかあわただしく、生きるのが難しい時代です。そんな「今」をしっかりと受けとめつつ、未来に向かって少しでも納得のいく道を探し求めていけたら……。幼い子どもも、共に生きる大人も目を輝かせて、「ゆっくり、ゆったり」過ごすことのできる世界を私たちの中から作り出し、人間の尊厳を受けとめ合う場を、これからも意志し続けたいと思っています。

■京都ライオンズクラブ

京都の環境を考えるNPOの皆さんの地道な活動を後押ししたいと思いました。私たちは、50周年記念事業の一環として「環境都市京都」のために地道に活動している団体を探していました。そこで、きょうとグリーンファンドの活動に興味を持ちました。単に寄付を募ってソーラー発電機を設置するだけでなく、設置後も環境教育を行い、人々に省エネ・節電や自然エネルギーの大切さを訴えておられるところに強く共感しました。また、大勢の市民に参加してもらいたいという考えをお持ちでしたので、私たちはその考え方に敬意を払い、資金の一部を補助することにしました。「おひさま発電所」は設置した施設から、その発電量に見合う金額をファンドに戻してもらい仕組みなので、施設が増えるほど資金が戻ってきて、さらに「おひさま発電所」が増えていくという期待が持たれます。その初めの段階に少しでもスムーズに活動を行えるよう、お役に立ちたいと考えました。

■特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは省エネ型の暮らしと社会をめざしながら、自然エネルギーの普及を進めています。省エネに取り組みながら積み立てた「おひさま基金」を活かして、市民参加で地域の保育園や幼稚園などに環境学習の拠点となる「おひさま発電所」をつくっていくのです。

きょうとグリーンファンドは「環境のために何かをしたい」と考えている人たちが、無理なく続けて参加できる仕組みで、次の世代に豊かな地球環境を手渡したいと考えています。



■学校法人むそう学園 夢窓幼稚園

〒616-8224 京都市右京区常盤窪町 1-16

電話：075-871-0709 FAX：075-861-8895

URL：http://www16.ocn.ne.jp/~musou/

■特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

〒600-8104 京都市下京区五条通り高倉西入る万寿寺町 143

いづつビル 6階

電話 / FAX：075-352-9150

E-mail：grifan@h7.dion.ne.jp

URL：http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf/



2005年11月発行



おひさま発電所ができたよ

おひさまと いっしょ!!

おひさまものがたりの はじまり はじまり ……



おひさまはつでんしょの でんちが いっこし しかありませんでした。 おひさまが できていました。 おひさまはつでんしょの かいしゃが でんちをくるまにのせて6こむそうようちえんにもってきてくれました。 みんな、うれしくなりました。おしまい。

パネルをキャンバスにして絵を描こう!



パネルのまわりに大集合! みんな思い思いにペンを走らせています。 ねえ、何を描いているの? 3人仲良くパネルの裏にお絵描き中。

さあ、おひさま発電所が完成しました!



腹話術による環境学習。おひさまマンに変身したしんちゃんと一緒に温暖化について学びました。 初めておひさまからできた電気を電灯に送ります。みんなスイッチを持って緊張の一瞬です。 暖かな光のそばで、先生によるライヤー(小型の竖琴)の演奏。心地よい音色がその場を包みました。

光るりんごがおひさまパワーをおしえてくれるよ!



今日はいくつのりんごが光ったかな? 大人も子どももおひさまのパワーが目に見えるようになってきました。

学校法人むそう学園夢窓幼稚園
園長 升光泰雄

あのなあ、ぼくは おひさまに なりたかたなあ。だって、ひとりで みんなを ほかほかにしてくれるもの。

こんなふうに、つぼやく、子どものかたわらで、「ほんとうに子どもって、おひさまが好きなんだなあ」と、思いました。 実際、ひなたぼっこくらい、心と身体をなごませてくれ、そと、勇気づけてくれるものは、ないかもしれませんね。 そんな、おひさまの光の力を、いただいての、発電が、今日から、ここで、スタートします。 たくさんの方々の、思いと、働きの中で、いよいよ、点灯の集いを、迎えることができますことを、何よりうれしく、思っています。 京都ライオンズクラブ50周年事業として、また、お一人おひとりとの、あらためての、出会いの中で、ご支援・ご協力・励ましを、いただきましたことを、感謝申し上げます。

「おひさま発電所」をきっかけとして、私たちが今も生きる舞台でもあり、時代を超えた「人間」たちの身体そのものでもある「地球」を、いま一度、深く、想い、めぐらす作業を、今後とも、ご一緒に、担い合っていくことができれば、と思っています。

2004. 1. 17

おひさまパワーでおいしくな一れ!!



みんなでダイコンをゴシゴシこすってキレイにします。みんなキレイにできたかな? おひさまの光がポカポカ……。子どもたちのそばでダイコンたちもひなたぼっこ。

すばい梅干しできるかな?



おひさまの光がジリジリ……。おいしい梅干しできるかな? みんな楽しみにしています。

お天気の日にみんなで散歩



お天気のいい日にみんなでおでかけ。木々の合間から木もれ日差しこんで今日もいい一日です。

みんなでプール!

おひさまの下、プールでバシャバシャ! 暑い日はプールが一番!!

絵の中でもおひさまともだち!!



きょうとグリーンファンド理事長 板倉 豊

2004年1月に5号機として夢窓幼稚園におひさま発電所ができました。 夢窓幼稚園ときょうとグリーンファンドのご縁は、当時低公害車導入の仕事をしていた私と通園バスを低公害車にしたいと考えておられた園長さんとの出会いが始まりでした。残念ながら天然ガス自動車のサイズがネックでこの計画は頓挫しましたが、おひさま発電所設置で思いはかなえられました。 夢窓幼稚園はもともと玄米による自然食、自然の森のような園内施設、楽しい音楽教育の導入など、自由で自然な幼稚園教育がなされてきました。今回はさらにおひさま発電設備を導入することにより、太陽がお米や大根を育て、ソフトエネルギーを生み出す、このおおらかなさを園児たちに伝える環境教育を導入されました。これこそが夢窓幼稚園の育児思想なのです。

エピソードをひとつ。私がある自然観察会で話をしているときに一番熱心に話を聞き、虫や雑草に興味を示している母子がいました。普通子どもたちは親の反応を受け継いで、ゴキブリやミズを汚いもの、気持ち悪いものとして教えられ、偏見をもつものです。その親子はきれいな水鳥だけに反応する他の参加者とはちがって、生きものすべてに愛情と関心を示していました。別れ際に私が主宰する観察会の案内を希望されたので名刺を手渡したところ、名刺に書かれていた「きょうとグリーンファンド」にたいく反応されました。理由を聞くとなんとお子さんは奇しくも夢窓幼稚園の卒園生だったのです。やっぱりと合点がきました。お子さんは園から帰ってくるといつも「今日はりんごがいくつあったよ!」とおひさま発電の話をしたそうです。

今後も夢窓幼稚園の太陽のような自由な育児教育が、おひさま発電によって加温されること願ってやみません。

おひさま発電所について学ぼう!



園長先生のギター演奏。コンサートと思いきや、実はこれが環境問題の勉強会なのです。